

ふれあい情報誌

# みなみの

2017  
24号

2017.9発行

Hospital Medicine Magazine Minamino



- 医師のご紹介
- リハビリテーション科のご紹介① 理学療法士編
- H28年度実績報告:回復期リハビリテーション病棟



医療法人仁寿会

## 南野病院



基本理念

患者様に安全と安心と満足を提供します。

患者様の権利

● 選べる権利 ● 知る権利 ● 参加する権利 ● 自ら決める権利 ● プライバシーに関する権利

## 医師の ご紹介

### 上野 隆先生



昨年8月より南野病院で勤務させていただいています上野と申します。平成7年に山口大学を卒業し外科医として多くの先輩方に医療を教えていただき10年前に長崎に戻ってきました。ここ大村市は生まれ育った故郷であり、愛郷の念が深かった私自身のみならず両親も喜んでくれているようです。昨年、自らの不摂生により招いてしまった大病も周りの方々のおかげで徐々に克服でき残り後半の人生および医師としての職務を如何にして果たしていくか悩みながら仕事をしています。

当院で仕事をする中で少しずつ自分自身の考えが変わってきていることがあります。人の命に関すること。患者様にいかに長く生きていただくかが大切なことではなく、いかに満足した意味のある人生を送っていただくかが大切なのであろう

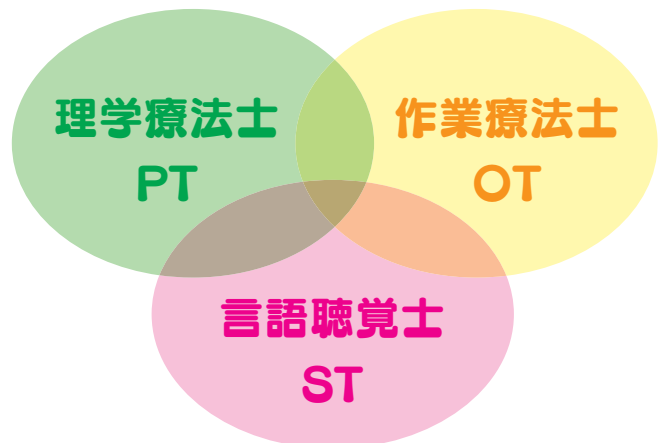
ことを最近強く感じています。その中で、人が生きていくためには他との関わりが大切であることも今さらながら日々感じています。人間は30兆個以上にも及ぶ細胞より構成され、各々が連携しながらたくさんの臓器を形成し一人の個体として存在しています。その一人一人が家族を含めた集団を形成し、地域を形成し、町となり国となり世界となり地球という大きな一つの生命体となっています。生命を満足するものとして維持するためには個々人としての小さな命のみでは不十分であり、他との綿密な関わりが必要です。命に係わる仕事として大事なことは、多職種で連携し、患者様とその背景を把握し、個人個人の方向性や他との関わりを親身になって考えていくことだろうと思います。そういう基本的なことの重要性を今になって実感しながら仕事をしています。

年老いてきた親が最近生き甲斐としている趣味の畑でできた収穫物を喜んだふりして頂戴しながらも親の満足気な顔を確認して帰宅するのが最近の日課になっています。今後も周りの多くの方々への感謝の気持ちを忘れずにここでの勤めを果たしていこうと思っています。精進を心掛け地域医療に邁進する所存ですのでよろしくお願いいたします。

## リハビリテーション科のご紹介

### 理学療法士(PT)編

今回から三回に分けて、リハビリテーション科(以下、リハ科)の紹介を行うことになりました。リハ科はリハビリの専門家であるセラピストによって構成されており、患者様が日常生活に必要なとされる動作を獲得し、生活の質(QOL)を向上できるよう、積極的なリハビリテーションを行っています。当院には、理学療法士(PT)18名、作業療法士(OT)12名、言語聴覚士(ST)9名が勤務しています。今回は、理学療法士に焦点をあててご紹介いたします。



## 理学療法士とリハビリテーション

理学療法士が行うリハビリテーションの目的は、寝ている人が起きられるように、起きた人が座れるように、座っている人が立てるように、立てる人が歩けるように、以前、お持ちだった力を、再び取り戻していただくことです。何かができなくなって困っている方に対し、どうしてそれができないのか、できるようになるためにはどうしたらよいのか、しっかりと体の状態をみて、プログラムを立てます。リハビリの他にも、身体の状態に合った補助具や車いすを選ぶ際のアドバイスも行います。また、退院後に過ごされる環境を、安心・安全な生活の場に近づけるように、福祉用具や家屋改修に関する提案も行います。

当院の理学療法士は、エネルギーで若さにあふれており、笑顔が魅力的なメンバーが揃っています。患者様やご家族に、誠心・誠意をもって向き合い、その思いに少しでも応えられるよう、日々頑張っています。

### 回復期病棟 PTメンバー



回復期病棟では、多職種と連携し、一人の患者様に対して一日約3時間のリハビリを提供し、しっかりと回復した状態で、ご退院いただけるように努めます。退院先を早期に訪問させていただき、退院後に必要とされる動作を目で見て確認し、より充実したリハビリの提供へ繋がります。

退院に向けての目標を一つずつ達成しながら、できることを増やしていただき、患者様やご家族のご希望に少しでも近づけるように取り組みます。

患者様やご家族の思いをお聞きしながら、その方らしく毎日を過ごしていただけるよう、心身の状態に合わせたリハビリを提供しています。

私たちが目指すものは、何かができるようになることだけではありません。息苦しさや痛みを感じる事が少なく、穏やかな毎日を過ごせるよう、私たちにできることがないか、日々向き合います。呼吸や咳の補助をして痰を出すお手伝いをし、楽に過ごせる姿勢についても考えます。

### 療養・緩和ケア病棟 PTメンバー



入院中に取り戻した力を、退院後もできるだけ長く維持していただくために、リハビリできる場を提供しています。その方が、地域や社会の中で再び生き生きと生活できるよう、支援します。

楽しく通っていただけるよう、世間話も楽しめるような、気さくな雰囲気づくりを心掛けています。

### 介護保険・外来 PTメンバー





# 昨年度 (H28) 実績報告 回復期リハビリテーション病棟

## 能力の向上について

当院では患者様が入院から退院までの間にどれだけ能力の向上が図れているのか、把握するために、機能的自立度評価 (FIM) という指標を用いています。FIMは、運動項目 (食事・整容・入浴等) と認知項目 (コミュニケーション・記憶・社会交流等) の評価を行って数値化してみています。

下記の表は、H28年度の当院回復期病棟のFIMの改善点数を全国平均と比較したものです。H28年度は、患者様一人一人の頑張りにより、改善した点数に関して、運動項目・合計のそれぞれの項目で全国平均を上回る結果となりました。今後も、患者様一人一人に寄り添ったリハビリを行い、患者様とともに能力の向上を図ります。

FIM改善点数の比較	当院回復期リハ病棟平均 (H28年度)			回復期リハ病棟協会全国平均		
	入院時	退院時	改善	入院時	退院時	改善
運動項目 (91点)	35.7点	54.3点	+18.6点	53.9点	70.4点	+15.8点
合計 (126点)	54.8点	74.0点	+19.2点	74.1点	91.1点	+17.0点

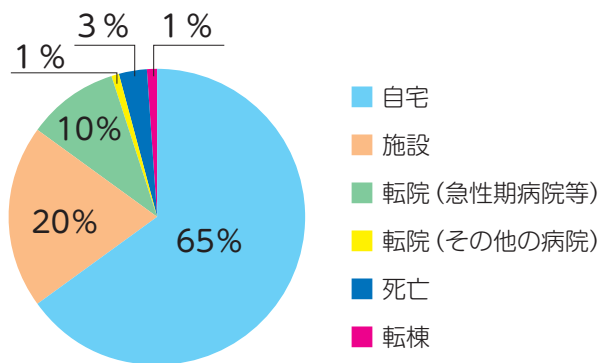
参考:H28診療報酬改定に関連するデータ (回復期リハビリテーション病棟入院基本料1)  
 ・実績指数 (基準:27.0以上) 当院: 34.5 (H29.1~H29.6、対象除外なし)  
 ・在宅復帰率 (基準:70%以上) 当院: 97.9% (H29.1~H29.6)

## 退院先について

当院では在宅復帰に向けて多職種でチームとなり、現状を評価しながら退院後の生活の場を見据えた生活リハビリ (24hr) を行います。昨年度は自宅へ退院された方が65%、特別養護老人ホームなどの居住系施設へ他院された方が20%と、入院された患者様の85%の方が在宅復帰されました。今後も、より多くの患者様の在宅復帰に向けて、多職種の一層の連携を図ります。

## 回復期リハ病棟 退院先

(H28年度)



医療法人仁寿会  
**南野病院**

〒856-0826  
大村市東三城町33番地 TEL.0957-54-8800 (代) FAX.0957-54-8755  
療養病棟 / 回復期リハビリテーション病棟 / 緩和ケア病棟  
健診部 TEL.0957-54-5551 FAX.0957-54-8755  
通所リハビリテーション / 訪問リハビリテーション **ゆ〜かり**

有料老人ホームほほえみ TEL.0957-47-8601 FAX.0957-47-8632  
デイサービス ゆ〜かり TEL.0957-47-8606 FAX.0957-47-8607  
ヘルパーST オリーブ TEL.0957-47-8857 FAX.0957-47-8858  
居宅介護支援事業所 **コアラ** TEL.0957-53-3731 FAX.0957-53-3732

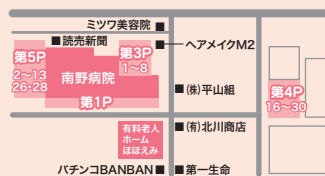
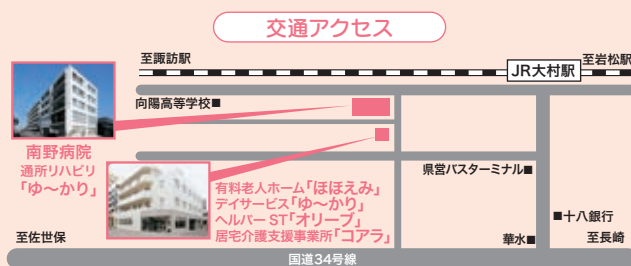
診療科目 ●内科 ●消化器科 ●放射線科 ●循環器科 ●リハビリテーション科  
休診日 金曜午後・土曜・日曜日・祭日



南野病院

検索

ホームページ <http://www.minamino-hosp.jp/index.html>



駐車場の案内

交通のご案内

- 県営バスターミナルより徒歩2分
- 大村駅から徒歩2分

当院はクレジットカードでのお支払いが可能です

